

## 国際研修「紙の保存と修復」(⑤修05-10-5/5)

### 目 的

海外で所蔵されている絵画や書跡、冊子などの紙文化財は、日本と違った気象条件で長期間保存されてきたために、損傷を持った作品が多い。また、担当者の不慣れな取り扱いによって作品を破損する場合もある。日本美術品の保存・修復・活用を行うには、材料・技法などの基礎的な理解と基本的な取扱いや修復に関する実技研修が必要であるが、海外でそのような機会を得ることは困難である。本研修は、紙文化財に関する保存修復の講義および演習を通して、研修参加者に、紙文化財に関わる基礎知識を伝えるものである。

### 概 要

研修日程：2010（平成22）年8月30日（月）～9月17日（金）

研修場所：東京文化財研究所、その他

研修対象：紙文化財の保存と修復を担当する学芸員、修復技術者、科学者および保存担当者

研修参加者（10名）：

DIDIK Joanna（アイルランド国立公文書館・アイルランド）

HASHIM Fauziah（マレーシアイスラム美術館・マレーシア）

HOEVEL Claire（インディアナポリス美術館・USA）

KOCSIS Marika（クイーンヴィクトリア博物館&美術館・オーストラリア）

KOKOĆ Joanna（ニコラウスコペルニクス大学トルン・ポーランド）

MAZZARINO Sara（大英図書館・UK）

NUÑEZ GAITAN Angela（バチカン図書館・バチカン市国）

STORACE Maria Speranza（文書書籍遺産修復保存研究所・イタリア）

XU Wenjuan（上海博物館・中国）

CHARLES Catherine（ナミュール大学モレトウスプランタン図書館・ベルギー）

### 研修内容

#### <講義、その他>

8月30日：オリエンテーション、自己紹介。8月31日：岡泰央「装幀概念」。9月1日：加藤雅人「紙の基礎」。9月2日：早川典子「日本絵画修復に用いられる接着剤について」。9月13日：赤尾栄慶「紙の文化財をめぐって―古写経を中心に―」。9月15日：池田寿「日本の紙文化財の保存と修理」。9月17日：ディスカッション。

#### <実 習>

8月31日～9月3日、9月13日～16日：卷子修復（虫損直し～卷子装の仕立て）。和綴じ冊子作製。屏風、掛軸の取扱。

#### <スタディーツアー>

9月6日～10日：岐阜県美濃市（長谷川和紙工房見学。美濃和紙の里会館、観覧および和紙の手漉き。美濃史料館観覧。名古屋市（徳川美術館）美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区見学）。京都市（国宝修理装幀師連盟工房見学）。

### 報告書 1件

『International Course on Conservation of Japanese Paper, 2010』 東京文化財研究所 35p 11.1

### 研究組織

○川野邊渉、加藤雅人、早川典子（以上、保存修復科学センター）